

きみつ市議会 だより

CONTENTS

- 2 第1回定例会のあらまし
- 4 議案の審議結果
- 5 一般質問Q&A
(代表質問、個人質問)
- 10 委員会の焦点
- 12 予算審査特別委員会の概要
- 15 先進地リポート
(行政視察研修報告)



第1回定例会

発行／君津市議会

編集／きみつ市議会だより編集委員会



ミツバツツジの季節です



市では、昭和56年の市制施行10周年を記念して市民の皆さんから意見を募り、ミツバツツジを市の花として決めました。平成8年には「君津市ミツバツツジ保護条例」を制定し、ミツバツツジの保護や植栽などを通してミツバツツジの里づくりを推進しています。

ミツバツツジの花期は4月から5月で、清和県民の森や久留里城周辺などの保護地域をはじめとして、市内各所で花を楽しむことができます。

第1回 定例会 の あらまし

令和5年度一般会計予算など

議案37件を議決

第1回定例会は、2月16日から3月24日までの37日間の会期で開かれ、定例会の冒頭に、市長から令和5年度の施政方針演説がありました。

今定例会では、令和5年度君津市一般会計予算など市長提出の36議案、委員会提出の1議案を審議し、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

一般質問では、各会派の代表質問と個人質問が行われ、代表質問では5会派9人が、個人質問では5人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

本会議討論



●議案第18号
君津市物産館の指定管理者の指定について

反対

これまでも、利用者等から接客対応などに関して改善を求める声を聞いており、それらについて改善が図られていないと認識しているため、賛成できない。

賛成

これまで利用客や地域の方々、議会等から出された様々な意見、指摘について、改善されるよう強く望むとともに市と指定管理者がより連携を深め、多くの観光客でにぎわう観光の拠点となっていくことを期待する。

●議案第27号
令和5年度君津市一般会計予算

反対

学校給食費無償化については、第3子のみでなく、全児童・生徒を対象とすべきと考えることや、広域廃棄物処理施設整備事業費など、広域事業に関する予算が計上されていることから反対する。

賛成

全児童・生徒に対する学校給食費の無償化については、医療費無償化を高校生まで拡大するなど、各種子育て支援の充実が進む中、現時点では、財源確保等の観点から、実施困難なことは理解するところではあるが、今後、安心して子育てができる環境の整備が図られることを期待する。また、広域化は、将来にわたり、持続可能な行政運営を図るためにも有効な方策であると考ええる。

●議案第28号
令和5年度君津市国民健康保険特別会計予算

反対

国民健康保険税を払いたくても払えない世帯等に対し、資格証明書、短期被保険者証を発行しており、賛成できない。

賛成

滞納者に対する短期被保険者証や資格証明書の発行については、負担の公平性の観点から、適正な運用がなされているものと理解する。

●議案第30号
令和5年度君津市介護保険特別会計予算

反対

これまでも保険料の増加により高齢者の負担が増えていることから反対する。

賛成

急速な高齢化の進展、また、生産年齢人口が減少する中で、将来にわたり持続可能な介護サービスを確保していくため、適宜、介護保険料の見直しが必要とされているものと理解する。

●議案第31号
令和5年度君津市後期高齢者医療特別会計予算

反対

制度そのものに反対する。

賛成

後期高齢者医療制度は、高齢者が安心して医療が受けられるための必要不可欠な社会保障制度であると考ええる。

※議案の審議結果については、4ページに掲載しています。



発議案第1号

君津市議会の個人情報の保護に関する条例の制定

地方議会は改正個人情報保護法の適用除外となることから、議会として引き続き個人情報の適正な取扱いを確保するため、新たに「君津市議会の個人情報の保護に関する条例」を制定することとし、議会運営委員会から議案が提出され、全会一致で可決されました。

◆条例の主な内容

- ・議会が保有する個人情報の適切な取扱いについて必要な事項を定めています。
- ・議会の保有する自己を本人とする保有個人情報の開示、訂正及び利用停止を請求することができるとを定めています。
- ・議会の事務局の職員または職員であった者等が、正当な理由がなく個人の秘密に属する事項が記録された個人情報ファイルを提供したとき等の罰則について定めています。

人事案件に同意

- 副市長 中川 茂治 (中野)
 危機管理監 森 勝利 (船橋市)
 人権擁護委員 鈴木 幸 (久保)
 一法師 雅巳 (南子安)

令和4年度 一般会計補正予算

今定例会では、君津市一般会計補正予算(第11号・第12号)に係る議案の審議を行いました。これらの補正予算は国の補正予算に伴う事業の経費や交付金の額の確定に伴う事業費の補正を主なものとして計上したものです。

議案第22号

補正予算(第11号)

主な事業の紹介

出産・子育て応援交付金事業

4,654万7千円

妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援を実施するとともに、妊娠届出時及び出生届出後に経済的支援を行います。



トンネル長寿命化事業

1,190万円

月毛トンネルの補修に係る詳細設計及び測量を行うとともに、川谷第一隧道の補修工事を行います。



月毛トンネル

西粟倉、前畑1号線道路改良(西粟倉地先)

2,530万円

市道西粟倉、前畑1号線の道路改良工事を行います。



市道西粟倉、前畑1号線

生活道路対策エリア事業

660万円

市道君津・清和線の歩道整備に係る測量、設計及び電柱移転を行います。



本庁舎管理事業ほか

3,007万5千円

電気料金の高騰等により予算不足が生じる見込みのため増額します。





出席議員全員が賛成した議案（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名	議案番号	件名
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第15号	君津市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第16号	君津市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について
議案第3号	君津市民センター設置条例の制定について	議案第17号	君津市久留里観光交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第4号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	議案第19号	(仮称)君津市立貞元保育園新築工事請負契約の締結について
議案第5号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第20号	(仮称)君津市立貞元保育園新築電気設備工事請負契約の締結について
議案第6号	君津市立小櫃小学校及び上総小櫃中学校日伯交流基金条例の一部を改正する条例の制定について	議案第21号	財産の無償貸付について
議案第7号	君津市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	議案第22号	令和4年度君津市一般会計補正予算(第11号)
議案第8号	君津市適応指導教室設置条例の一部を改正する条例の制定について	議案第23号	令和4年度君津市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
議案第9号	君津市学校給食費の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第24号	令和4年度君津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
議案第10号	君津市立久留里城址資料館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第25号	令和4年度君津市介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第11号	君津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	議案第26号	令和4年度君津市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
議案第12号	君津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	議案第29号	令和5年度君津市農業集落排水事業特別会計予算
議案第13号	君津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	議案第32号	君津市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第14号	君津市精神障害者医療費給付条例の一部を改正する条例の制定について	議案第33号	令和4年度君津市一般会計補正予算(第12号)
		議案第34号	令和5年度君津市一般会計補正予算(第1号)
		議案第35号	副市長の選任について
		議案第36号	危機管理監の任命について

◆委員会提出議案

議案番号	件名
発議案第1号	君津市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

議案番号	件名	議決結果	議員																						
			三浦章	鶴岡一成	宇野晋平	村上幸人	須永和良	小倉靖幸	下田剣吾	保坂好一	高橋明	小林喜久男	石上壘	松本裕次郎	磯貝清	高橋健治	佐藤葉子	野上慎治	齋藤利生	かがやき 奈良輪政五	津派 橋本礼子	津派 三浦道雄	津派 鈴木高大		
議案第18号	君津市物産館の指定管理者の指定について	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
議案第27号	令和5年度君津市一般会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第28号	令和5年度君津市国民健康保険特別会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第30号	令和5年度君津市介護保険特別会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第31号	令和5年度君津市後期高齢者医療特別会計予算	○可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対

一般
質問

Q & A

第1回定例会において、代表質問では関連質問を含め5会派9人が、個人質問では5人が質問を行いました。

質問の大綱については下記のとおりです。

マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。また、関連質問については、質問項目を本文に掲載しています。

なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

※質問時間について、代表質問は90分から60分に、個人質問は60分から45分に短縮して一般質問を行いました。

代表質問

令和新政

P.6

小倉 靖幸 議員

- 総合計画について
- 市政運営について
- 将来を支える産業都市基盤の整備について
- 子育て世代が住みやすいまちについて

きみつ未来

P.7

磯貝 清 議員

- 令和5年度施政方針について
- 主要計画及び財源確保の取組について

関連質問 石上 壘 議員

村上 幸人 議員

P.9

令和新政

- 防災について
- 河川整備について
- 高齢者福祉について
- スポーツ振興について
- 再生エネルギーについて
- 教育環境の整備について

創政会

P.6

高橋 明 議員

- 経済と環境が調和したまち
- ともに創る次世代につながるまち
- 行政マネジメントについて

関連質問 保坂 好一 議員

かがやき君津

P.8

橋本 礼子 議員

- 財政運営について
- 地方創生の推進について
- 「経済と環境が調和したまち」について
- 「誰もがいきいきと生活できる地域共生のまち」について
- 「安心して子育て・子育てでき学びを楽しめるまち」について
- 「快適で安心して暮らせるまち」について

三浦 道雄 議員

P.9

諸派・日本共産党

- 市長の政治姿勢について
- 教育行政について
- 福祉・医療行政について
- 環境行政について

公明党

P.7

佐藤 葉子 議員

- こどもまんなか社会の実現に向けて
- 文化・芸術によるまちづくり推進について
- 地域の特色を生かしたまちの活性化について
- 豊かで住みよい環境づくりについて

関連質問 高橋 健治議員
野上 慎治議員

個人質問

齋藤 利生 議員

P.8

かがやき君津

- 農業施策について
- 選挙の投票率向上対策について
- スクールバスの今後の運行方針について
- 住宅政策について

下田 剣吾 議員

P.9

創政会

- 施政方針について
- 市民の命を守る防災対策について
- 君津パーキングエリア周辺の活性化について
- 森林整備について
- 選挙について
- 公共施設の屋根と公用車管理について
- 教育文化施設について
- 高齢者の補聴器購入に対する支援について
- 消防団について

須永 和良 議員

P.10

令和新政

- 君津市の人口流出を抑制するための施策について



令和新政
小倉 靖幸 議員

総合計画の推進

Q 総合計画の具体的な進め方について伺う。

A 4つの戦略的プロジェクトについて、全庁横断的に取り組む。徹底した経営改革と併せ、予算と連動した実施計画により実効性を確保する。さらに国の方針等を踏まえ、時代にあった子育て施策の実施など柔軟性を持って対応し、地域経済の活性化、魅力的な地域づくりを進め、地方創生をより確かなものにしていく。

人口減少対策

Q 限られた予算の中、人口減少に資する施策を絞り込み、重点的に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

A 多様な企業の立地や新たな産業の創出を図り、多くの人たちが元気に働けるまちを目指す。また、時代に合った子育て施策の充実、良質な教育環境の提供など子育てと教育を一体的に展開する。さらに中心市街地の更なる活性化を推進し、住みやすい都市へのリニューアルに取り組む。

予算編成

Q 令和5年度予算について、どのような考えをもって予算編成を行ったのか伺う。

A 将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の実現に向け、基本構想の5つの柱、4つの戦略的プロジェクトを着実に前に進めるための予算とした。限られた予算を効率的、効果的に運用し、持続可能なまちづくりを進める。

経営改革

Q 第3次君津市経営改革大綱において想定している取組等を伺う。

A 現経営改革大綱の最終年度の令和5年度は、総仕上げとして、これまで以上に改革を断行する。令和6年度からの第3次君津市経営改革大綱は、働き方改革や民間企業との連携、時代の変化に応じた大胆な事務事業の見直しなど徹底した経営改革の実行を盛り込んでいく。

君津IC周辺の活用

Q 土地利用構想の進捗よく状況及び今後の展開について伺う。

A 懇話会を設置し、地元の意見や未来を見据えた拠点づくりについての意見を伺っている。アンケートでは、事業者から進出の可能性が感じられる回答もいただいた。令和5年度は、企業ニーズの精査や開発手法などの検討を行い、土地利用構想をまとめていく。



創政会
高橋 明 議員

農業振興

Q 農業の振興なくして地域の振興はないと考える。将来にわたって農業を発展させていくには農地を効率的に整備することは必要不可欠と考えるが、農林振興に関する市の取組を伺う。

A 農業は土地や気象条件など地域に密着した産業であり、特に農地はほとんどの農業生産に欠かせない大切な資源であることから、本市として初めて農業振興計画を策定することとし、令和4年度末の完成を目指している。令和5年度からは、人・農地プランに将来の目標地図をプラスした「地域計画」の策定に向け、農業委員や地元の方などの関係者の方々とともに取り組んでいく。また、高齢化などにより耕作を続けるのが難しいという方が増えてきており、農地の荒廃につながる恐れがあることから、これを未然に防ぐために、公の機関である農地中間管理機構が、農地の貸借を仲介する農地中間管理事業を実施している。

地域拠点づくり

Q 人口減少や少子高齢化の進展により、地域コミュニティや生活サービスの機能の低下が懸念される中、多様な地区の特色に応じた拠点を形成し、まちの活性化を図ることが必要と考えるが、各地区の拠点づくりは何を主眼として整備していくのか伺う。

A 拠点づくりを進めるにあたっては、地域活動の主役となる市民に行政が寄り添い、住みよい地域づくりに向け、共に学び、考えることによって生まれたアイデアを地域での活動につなげ、さらなる活性化や課題解決に取り組んでいく。また、これまで積み上げてきた地区の歴史、特色や個性を最大限に生かした未来へつなげる拠点をつくり、持続可能なまちづくりを進めていく。

職員の意識改革

Q エンゲージメントの概念を用いて行う意識改革の効果と期待するものについて伺う。

A 人事課内に人材育成推進室を設置し、人事評価制度の見直しや職員研修の強化、キャリア形成支援などにより、職員のモチベーションを向上させ、新たなことに臆さずチャレンジする「日本一チャレンジする市役所」を目指していく。

関連質問 保坂 好一 議員



▼定年前再任用短時間勤務職員の登用に
ついて

▼離職率の低減について
▼地方公務員の副業・兼業について



公明党
佐藤 葉子 議員

子ども基本法の理解と子どもの意見を聴く仕組みづくり

Q 全ての子どもたちの意見が尊重され、善の利益が優先して考慮されるよう、子どもたちの声を聴く仕組みや居場所づくりの計画的な推進について伺う。

A きみつ版「子どもまんなかフォーラム」やワークショップの開催など、子どもたちの意見が反映される仕組みを構築していく。また、公民館再整備計画等において子育て支援機能を併設するなど、子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを検討する。

小中学校の施設整備を最優先に

Q 学校再編第3次実施プログラムの対象となる八重原小学校と南子安小学校はかなり老朽化しているため、再編を行う際は、合わせて施設改修計画も示すべきと考えるがどうか。

A 再編対象校となる施設を含めて個別施設計画に基づいて整備を実施する。

不登校児童生徒の教育機会の拡充を

Q 不登校となる児童・生徒数は増加傾向であり、2017年施行の教育機会確保法に基づき、学校以外の選択肢の構築が必要と考える。小系地区にあるきみつメイトの機能拡充等について伺う。

A 利用者は現在15名で、指導員3名で支援し、オンライン学習の環境も整備している。今後は一人でも多く社会的自立を目指す児童・生徒を支援するため、施設の移転を含め、よりよいあり方を検討

討する必要があると考えている。

Q きみつメイトへの送迎支援や民間フリースクールへの授業料補助などを検討してはどうか。

A 本市でも児童・生徒一人ひとりに寄り添った支援に努めているところだが、今後、どのような支援が必要か調査研究していく。

市民協働の「まちづくり協議会」設置へ

Q まちづくり協議会の位置づけや行政の支援体制の構築について伺う。

A 市民と行政が双方向に連携し、地域づくりを推進するために設置する市民センターと本庁の市民活動支援課を中心に、公民館等と十分な連携を図りながら、総合的、伴走的に支援を行い、市民と行政の協働によるまちづくりに取り組んでいく。

関連質問 高橋 健治 議員



幅広い世代を対象とする健康づくりについて

▼地域別避難訓練について

▼家具転倒防止対策について

関連質問 野上 慎治 議員



▼地域学習の質の向上について

▼まちづくり協議会の進め方について



きみつ未来
磯貝 清 議員

令和5年度施政方針

Q 君津市商工・観光アクションプランの短・中期的な考え方や鹿野山の整備における具体的な展開の手法について伺う。

A 短期的な各取組の進捗よくを評価・検証しながら成果を積み上げ、目標年度である令和8年度において目標値達成を目指す。鹿野山については、観光資源の磨き上げとして、民間の発想を取り入れた施設活用策を検討し、さらなる賑わい創出と観光施設との連携で魅力向上と活性化を図る。

Q ふるさと納税の効果的なシティブロモーションについて伺う。

A さらなる寄附額の向上を目指すため勉強会を開催し、新たな商品開発やコラボ企画などに取り組みほか、返礼品紹介方法やシティブロモーションを強化し、市長としてトップセールスをしていく。

Q 体組成計は生活習慣病の予防などに有効と考えるが、設置について伺う。

A 令和5年度にポータブルタイプの体組成計を導入し、国保特定健診や若年健診などで活用していく。

Q 第3子以降の給食費無償化に関して、財源確保の考え方について伺う。

A 子育て世帯の経済的負担に対する支援策として給食費完全無償化は大変効果的であると考えており、制度を継続したいという思いはあるが、財源確保が

大きな課題である。引き続き新たな支援策などの情報収集により財源確保に努める。

Q 君津市地域公共交通計画の内容について伺う。

A 市民ニーズや移動実態などを十分に踏まえたうえで、コミュニティバスや民間バスなど、既存の交通資源を最大限活用できるよう公共交通ネットワークの再編成を図り、将来にわたり持続可能な交通体系の整備に向けて取り組んでいく。

Q 市民センターの組織体制について伺う。

A 市民センターと公民館の組織を有機的に連携させ、一体的かつ効率的な組織体制とする。まずは、清和地域において先進的に取り組む。

Q 4つの戦略的プロジェクトについて、中長期の具体的到達レベルと取組プロセスを伺う。

A 総合計画と「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の一体化を図ったことから、重要業績評価指標に基づく効果検証を行い、有識者会議における外部有識者の知見等もいただきながら進めていく。

関連質問 石上 壘 議員



▼スポーツの推進について

▼学校再編第3次実施プログラムについて



かがやき君津
橋本 礼子議員

地方創生の推進

Q デジタルの力を活用した地方の課題解決に向けた君津市DX推進計画の今後について伺う。

A 令和5年度は、申請率が7割を超えたマイナンバーカードを利用して、電子申請を拡充するとともに、遠隔相談窓口を清和地域市民センターから順次整備していく。

Q マイナンバーカードを使って、どのように進めていくのか伺う。

A 現在は対面で行っている本人確認や署名を、今後はマイナンバーカードを利用して、オンラインでできる環境を整え、様々な行政手続きが電子申請できるように進めていく。

経済と環境が調和したまち

Q 新たな農業振興計画の重点施策について伺う。

A 本市として初となる本計画は、重点施策として、多様な担い手が活躍できる環境の整備、安定した農業経営の確立、都市農村交流の促進と環境問題への対応の3つのテーマの下に、基本計画、取組項目、目標を定め、関係機関と連携しながら農業の持続的な発展に向け施策を進めていく。

誰もがいきいきと生活できる共生のまち

Q 地域における障害者相談支援の核的な役割を担うべく、令和3年8月

に設置した基幹相談支援センターの機能の充実について、どのように取り組んでいくのか伺う。

A 令和5年度からは、市役所内に相談室を常設し、引き続き地域の相談支援事業者への専門的な指導や助言、人材育成の支援、相談機関の連携強化の取組等を実施していく。

Q 障害者へのサービス提供体制の充実について、取組状況を伺う。

A 令和6年度からの次期障害者基本計画の策定に向け、対象となる方々や、市内のサービス提供事業所等に対し、アンケート調査を実施し、さらに、医療的ケア児等とご家族の支援に向けて、利用したいサービス等について別途アンケート調査を実施した。これらのアンケート結果を参考に、事業者と共に対話を重ねながら、障害福祉サービスの充実に努めていく。

快適で安心して暮らせるまち

Q 市が令和4年8月に作成した業務継続計画で示されている訓練の実施時期について伺う。また、福祉避難所となっている特別支援学校との連携はどのようなになっているのか伺う。

A 令和5年度の早い時期に、職員一人ひとりの対応行動を確認するなどの研修の実施を検討している。また、君津特別支援学校との連携は、移送等の協定内容について協議を開始しており、今後も連携を密に対応していく。



かがやき君津
齋藤 利生議員

三島ダムの年間の改修工事期間

Q 三島ダムに農業用水を貯めておく期間は工事ができない状況かと思われるが、工事期間は年間に何ヶ月程度行えるのか伺う。

A 県によると、ダムに水が貯留されている期間や降雨の多い出水期を除いて工事期間を計画するため、11月から2月の4か月程度である。

学校再編後のスクールバスの運行

Q 令和元年から運行を開始しているスクールバスは現在、国の補助金を活用しながら市内5校で24台が稼働しているが、国の補助対象期間が終了する中、今後のスクールバスの運行について伺う。

A 引き続き、児童生徒の安全確保に留意しつつ、効率的な運行ルートへの見直しを行うなど、運行経費の節減に努めていく。

市民の豊かな住生活と多様化する価値観ある地域社会

Q 新型コロナウイルス感染症の拡大は、場所に縛られない働き方を普及させ、地方移住を考える人の後押しとなっている。君津市版住生活基本計画は、新たな人口を呼び込む転入促進策となるが、本市への移住、人口流入対策について見解を伺う。

A 都心で暮らす若者などの地方への関心が高まる中、人口減少の克服に向けて、引き続き、様々な施策を講じたいと考えている。総合計画において、特に重点的に取り組むテーマである、安心して働ける環境をつくるなどの4つの戦略的プロジェクトを全庁横断的に取り組んでいく。中でも、子育て支援等の少子化対策や教育環境の整備、君津駅周辺の市街地のさらなる活性化を進め、魅力ある住環境の整備に取り組んでいく。

スマートフォン用アプリ「マチイロ」で「議会だより」をご覧ください。



マチイロ

Android用
スマホ・
タブレット▶



iOS用
iPhone・
iPadなど▶



※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担になります。

アプリをダウンロードし、「お住まいの地域」で君津市を選択すると、いつでもどこでもスマホやタブレットなどで「議会だより」を閲覧することができます。



令和新政
村上 幸人 議員

小糸川の環境整備

Q 小糸川の防災の観点から、県へ要望している内容と対応状況について伺う。

A 台風や大雨等による災害対策も含め、樹木や雑草の生い茂る箇所や土砂・竹木が堆積している箇所の撤去等について、毎年要望を行って。直近では、外箕輪、李師地先等において竹木等の伐採、除草及び堆積土砂の撤去、中流域における河川改修工事などが行われている。

高齢者ごみ出し支援

Q 一般ごみや粗大ごみを出す際、ごみステーションが遠いことや粗大ごみを自宅から搬出できない等、高齢者のごみ出しが困難となっている事例があるが、その支援策を伺う。

A 自治会等に行ったアンケートの結果を基に、戸別収集等も含め検討していく。

高齢者の生きがいや簡単な就労ができる場所づくり

Q 高齢者が集まり、交流を図りながら簡単な就労ができる場が必要と考えるが、見解を伺う。

A 現在、社会福祉協議会やシルバー人材センター等の各種団体と連携し、社会参加や生きがいづくりの支援を行っており、就労機会の場づくりについては、民間や他市町村の動向を注視していく。

通学路安全対策

Q 八街市の事故を受けてからの通学路の安全確保の取組状況と今後の通学路安全対策への考えを伺う。

A 警察等と緊急合同点検を行い、そこで把握した危険箇所89か所のうち84か所の安全対策が終了している。今後、通学路安全対策プログラムを計画的に更新するなど、継続的に対策を講じていきたい。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員

市長の政治姿勢

Q これだけは何としてもやり遂げたいという施策は何なのか伺う。

A 本市の人口が減少している状況を重く受け止め、これをいち早く克服することが大きな使命であると捉えている。特に、若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを推進するとともに、にぎわいの創出や定住促進に資する施策を展開することで、本市における地方創生の実現に向け、全力で取り組んでいく。

学校給食費の完全無償化

Q なぜ小中学校の給食費完全無償化の決断ができなかったのか伺う。

A 子育て世帯の経済的負担に対する支援として大変効果的であると考えているが、制度の実現には財源の確保が大きな課題であるため、全庁的に子育て支援に必要な施策の見直し、充実を図る中で検討していきたい。

高い国民健康保険税の大幅引下げ

Q 12月議会で、近隣市と情報交換を行うとの答弁があったが、1兆円の公費負担増を求めることについて、どういう話ができただのか伺う。

A 2月に千葉県国民健康保険団体連合会君津支部の幹事会場で情報交換を行い、改めて公費負担増の有効性について4市の共通認識であることを確認したが、今後の取組方法については継続協議としている。

新井総合施設株式会社の動向

Q 最近ダンパーカーの車両台数が増加しているが、同社の動向について伺う。

A 12月下旬頃から台数が増加傾向にあり、増加要因は12月20日から第3の2の1処分場への廃棄物搬入が開始されたことと認識している。



創政会
下田 剣吾 議員

暮らしに必要な補聴器の購入に助成を

Q 高齢者の補聴器購入への支援について。多くの方が耳の聞こえに悩んでおり、障害者手帳を持つ難聴者は1割負担で購入できるが、その現状とそれに当てはまらない軽度・中等度の方への他市の支援状況について伺う。

A 難聴は生活を不便にするだけでなく、認知症の危険因子となる可能性も指摘されている。令和3年度末の本市の聴覚・平衡機能障害の身体障害者手帳所持者は223人で、補装具費支給制度を活用した補聴器の購入件数は16件。県内では浦安市、船橋市、印西市などが、所得制限や購入回数などの要件を定めて、2万円から3万円程度の助成を行っている。

Q 県内では2〜3万円の助成を行う市があることがわかった。12月議会で審議した陳情は、求められた半額の助成が高水準であったことから、不採択となったが、耳の聞こえに苦しむ方々を助けたいという思いはある。認知症のリスクにもなるとの答弁もあり、暮らしを考えれば軽度・中等度の難聴から支援したほうが良いと考えるが、子どもに対してはどのような支援をしているか伺う。

A 市では身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児に対し補聴器購入費用の3分の2を助成し、健全な言語と社会性の発達を支援している。

市民文化ホールの改修費32億円を確保できるのか

Q 文化ホールの改修費用は莫大である。準備段階からPFIや民間連携が必要だと考えるが見解を伺う。

A 開館から32年経過し長寿命化のため大規模改修を計画しているが多額の費用が想定されるため、民間との連携も視野に入れながら様々な手法を検討する。



令和新政
須永 和良 議員

人口流出を抑制するための施策

Q 県の建築着工統計によると、人口1万人あたりの住宅着工数は本市と比較して袖ケ浦市が約2.3倍、木更津市が約2倍となっており、本市との差についてどのように分析しているか伺う。

A 転出者を対象にしたアンケート調査結果において、「仕事の都合」に次いで「住宅の都合」が多いことから、一団の宅地や住宅の供給不足が影響しているものと考えており、都市計画マスタープラン等に基づいて、住みやすい都市へのリニューアルに取り組む中で、空き家対策を含む住宅施策や低未利用地の高度利用など、民間誘導や投資を促す施策を展開することにより住宅供給の実現に取り組んでいく。

市街化区域内の開発推進

Q 令和7年度に予定されている県の都市計画マスタープランの見直しに合わせて、本市の市街化区域の見直しも提案していくべきと考えるが、見解を伺う。

A 本市の市街化区域の見直しは、県による定期線引きに合わせて行っており、今後、県が示す都市計画区域マスタープランの見直し基本方針に基づいて、市街化区域内農地所有者等の意向を確認しつつ、市街化区域の見直しについて検討していく。

市道建設時に発生する残土の防災対策への活用

Q 市道支線1号の建設により発生する3万8千㎡の残土を、浸水区域内に居住する希望者へ提供するなどの防災対策に活用することについて見解を伺う。

A 公共事業で発生する土砂については、民間も含めた工事間流用を図り、有効活用することが国の基本的な考え方として示されていることから、ハザードエリアにおける防災対策としての活用についても調査研究していきたい。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案をそれぞれ審査しました。主な議案の審査概要は、次のとおりです。

※議案名は、議案の審議結果（4ページ）を参照してください。

総務常任委員会

審査案件（議案第3号、議案第5号、議案第7号、議案第15号、議案第16号、議案第21号から議案第23号、議案第26号、議案第32号、議案第33号）

◆議案第3号

君津市市民センター設置条例の制定

（内容） これまで行政窓口の出張所としてきた行政センターに、市民協働のまちづくりの地域拠点としての位置付けを加え、その位置付けにふさわしい名称に変更するため、新たに条例を制定しようとするもので、名称については、小糸、清和、小櫃、上総それぞれの地域名の後に「地域市民センター」をつけるもの。

問 市民センターの人員配置について伺う。

答 初めに清和地域から組織体制の見直しを考えており、市民センターと公民館の職員を併任するとともに職員1名の増員を行い、他の地域の市民センターについては清和地域での取組状況の検証を行い、改善や見直しを順次行っていく。

賛成討論 地域の多種多様な課題や地域住民からの要望に対して迅速に対応できるように体制を構築された

い。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆議案第15号

君津市国民健康保険条例の改正

（内容） 健康保険法施行令が改正され、出産育児一時

金の支給額が引き上げられたことに伴い条例の一部を改正するもので、出産育児一時金の本則部分の金額を現行の40万8千円から48万8千円に引き上げ、産科医療補償制度に係る加算額1万2千円を加算した後の総額を現行の42万円から50万円とし、令和5年4月1日以降の出産について適用しようとするもの。

問 出産育児一時金の支給件数の見込みについて伺う。

答 令和5年度予算において、48件の支給を見込んでいる。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆議案第22号（補正予算）

土地売却収入

問 旧三島小学校の売却について伺う。

答 測量業務において、敷地境界の同意が整わなかったことから、令和4年度内の売却が困難となったが、現時点では境界確定の同意が得られたため、今後、事業者との売却金額の交渉を進めていく。（全会一致で可決すべきものと決定）



旧三島小学校

● 教育福祉常任委員会

審査案件（議案第4号、議案第6号、議案第8号から議案第14号、議案第19号、議案第20号、議案第22号、議案第25号、議案第33号）

◆ 議案第6号

日伯交流基金条例の改正

（内容）日伯交流事業の対象校として、君津市立上総小学校を加えるため、条例の一部を改正しようとするもので、施行期日は令和5年4月1日とするもの。

【意見】 交流事業の対象範囲が広がったことで、上総小櫃地域とブラジルとの交流がより一層発展することを期待する。（全会一致で可決すべきものと決定）



日伯交流事業

◆ 議案第8号

君津市適応指導教室設置条例の改正

（内容）不登校児童生徒に対し、学校復帰

に向けた指導や支援を行う適応指導教室の名称を、生徒や保護者の抵抗感を減らし、親しみやすいものとするを目的として、君津市教育支援センターに改めるため、条例の一部を改正しようとするもの。

【賛成討論】 地域との交流や、子どもたちの自主性を重んじた時間の過ごし方などにも留意し、支援の内容を充実させ、また、子どもたちが安心して過ごせる居場所となるよう施設整備の方法を検討しながら今後も事業を継続されたい。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆ 議案第12号

君津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正

（内容）国の家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、利用する乳幼児の安全を確保するための計画策定等を義務づけるとともに、送迎にあたっての安全管理の徹底に係る規定を加えるなど、条例の一部を改正しようとするもの。

【問】 本条例の対象事業者について伺う。

【答】 対象は小規模保育園であり、本年4月の時点で4園が対象となる見込みである。

【意見】 安全確保に関する計画の策定や見落とし防止装置の設置等、義務の部分は今より、食中毒の防止対策等の努力義務の部分についても着実に実行されるよう、事業者に対して説明を行われたい。（全会一致で可決すべきものと決定）



● 建設経済常任委員会

審査案件（議案第17号、議案第18号、議案第22号、議案第24号、議案第33号）

◆ 議案第18号

君津市物産館の指定管理者の指定

（内容）令和5年4月1日から3年間、有限会社きみつふれあいの里を指定管理者として指定するため、議会の議決を求めるとして、条例に規定する団体要件を付し、公募したところ、2団体から応募があり所定の審査を実施した結果、当初は、株式会社T S Jを指定管理者の候補者として選定し、議案上程したものの、当該事業者から辞退届が提出され、これを受理したことから、次点の有限会社きみつふれあいの里について、再度、審査を行い、審査の結果、有限会社きみつふれあいの里を指定管理者として指定しようとするもの。

【問】 審査基準や指定候補者からの提案内容について伺う。

【答】 審査基準については、利用者の平等な利用が確保されるか、住民サービスの向上が図られるか、施設の効用が十分に発揮されるか、収支計画が適正であるか、などとなっており、指定候補者から提出された事業計画では、地域住民と連携して、農村地域の活性化を図ることを基本方針とし、具体的な取組として、利用客のニーズを把握し、市と連携して適切な対応を行い、サービス向上を図るとともに、従業員の資質向上を図っていくなどの提案があった。審査は、委員7名により採点を行い、その結果、

基準点以上を獲得したものである。

【意見】 よりよい施設運営のためには、指定管理者自身が自主的な取組を行い、収益を上げられるよう努力する必要があると理解する。市と指定管理者がこうした共通意識を持ち、施設が運営されていくことを望む。（全会一致で可決すべきものと決定）



君津市物産館



◆ 議案第33号（補正予算）

サンブスギ林総合対策事業

【問】 事業の概要について伺う。

【答】 木の幹が腐ってしまう溝腐病の被害を受けたサンブスギ林の回復や被害拡大防止のため、伐採及び伐採後の植栽を行い、森林資源の循環を図るものである。また、森林組合が県や市の補助を受け、実施しており、平成17年から継続して行われている事業である。（全会一致で可決すべきものと決定）

令和5年度

一般会計当初予算

3月8日の本会議において予算審査特別委員会が設置され、3月15日、16日、17日の3日間にわたり、10名の委員が令和5年度一般会計予算をはじめ各特別会計予算の審査を行いました。

慎重審査の結果、議案第27号から議案第31号、議案第34号のすべての議案が、それぞれ、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

委員会における主な質疑等、審査の概要については、13〜14ページに掲載しています。



【予算審査特別委員名簿】

委員長＝磯貝 清 副委員長＝村上幸人
委員＝齋藤利生、鶴岡一成、鈴木高大、宇野晋平、松本裕次郎、佐藤葉子、
下田剣吾、保坂好一

令和5年度 主要事業

子ども医療費助成事業

2億6,115万8千円

中学校修了前の子どもの医療費（保険診療分）の助成に加え、令和5年10月診療分から、対象者を高校生世代まで拡大することにより、保護者の経済的負担の軽減及び子育て環境の充実を図る。



清和地区拠点施設整備事業

7億4,262万9千円

旧秋元小学校を活用し、老朽化した行政センターや公民館、保育園等の行政機能を複合化し、公共施設の再配置先行モデルとして、清和地区拠点施設を整備する。



（仮称）貞元保育園整備事業

12億8,183万1千円

本市の子育て支援の拠点となる様々な機能を備えた基幹保育園として（仮称）貞元保育園を整備する。



新規

医療DX・デジタルヘルス推進事業

800万8千円

PHR（個人健康情報管理）を活用した地域医療連携システムを実装し、持続可能な地域医療体制を構築するとともに、市民のライフステージごとの健康や医療に関する情報に基づいた施策を展開し、市民の健康づくりを後押しする。



新規

鹿野山九十九谷展望広場整備事業

500万円

新たな観光客誘致に向け、鹿野山九十九谷展望広場の整備に係る具体的な手法の整理等を行う。

新規

内房総百年後芸術祭事業

3,700万円

君津市、木更津市、市原市、富津市及び袖ヶ浦市の5市で連携し、千葉県誕生150周年記念事業として（仮称）内房総百年後芸術祭を開催する。

君津インターチェンジ周辺土地利用検討事業

1,320万円

君津インターチェンジ周辺における新たな土地利用の検討を行う。

予算審査 特別委員会の概要



磯貝 清 委員長

議案第27号 一般会計予算

問 指定管理者制度を導入している施設における、物価高騰、人件費の増加への対応について伺う。

答 物価高騰については、責任分担表において指定管理者の負担となっているが、昨今の物価高騰や社会的な賃金引上げを踏まえ、必要に応じて指定管理者と協議していきたい。

問 高速バス通学支援事業の増額理由及び事業効果を伺う。

答 令和5年度は20名の利用者増加を見込み、71名分の予算を計上したため増額した。事業効果として、令和4年度においては、本制度を利用した卒業生で、これまで進路を伺えた10名のうち8名が市内に在住しながら就職する予定であり、転出抑制、定住促進に一定の効果があった。



問 防犯ボックスの運営について伺う。

答 本事業に対する県補助金は令和4年度をもって終了するが、令和5年度においても防犯ボックスの運営を継続し、今後は防犯パトロールの範囲の拡大も検討していきたい。



陽光 君津市防犯ボックス
※ネーミングライツ事業による施設の愛称です

問 (仮称)貞元保育園の特色及び名称決定のスケジュールについて伺う。

答 同園は、公立保育園三園を統合し、市内の保育園のシンボルとなるような施設を目指しており、子どもたちがのびやかに過ごせるゆとりのある保育室があるほか、子育て支援センターを併設し、子育て世代への相談支援体制を整備していることや、一時預かり事業を行うなどの特色がある。また、名称については、令和5年9月ごろに公募を行い、12月を目標に結果を公表し、令和6年3月議会に条例案を上程し、決定したい。

意見 多額の費用を投じる事業であることから、その特色を十分整理して市民の理解が得られるよう周知に努めるとともに、気概をもって事業に取り組みたい。



(仮称) 貞元保育園イメージ図

問 医療DXデジタルヘルス推進事業の概要及び医療機関等との連携について伺う。

答 事業の概要については、現在、K・S I P (君津ソーシャルイノベーションプラットフォーム) 事業において、P H R (個人健康情報管理) の実証実験を行っており、健康寿命の増進や、健康リテラシーの醸成に効果が期待できると判断したことから持続可能な地域医療体制を構築するため、新たに実施したいと考えており、具体的には、アプリに取り込んだ健康情報や薬剤情報などのデータを永続的に管理・活用することが可能となる。対象者は、子育て世代や健康への意識が高い高齢者世代を中心に、広く市民への普及啓発を図っていく。関係機関との連携については、医療機関や薬局との連携が重要であるため、君津

木更津医師会等に説明会を行い、連携を図っていくほか、今後、市外の医療機関に対しても、協力を呼び掛けていきたい。

意見 大きい効果が期待できる事業である一方、個人の健康に関する情報を収集するものであるため、事業内容については市民に丁寧に説明することを望む。

問 鹿野山九十九谷展望広場整備事業に関する、事業実施の背景及び事業内容について伺う。

答 当該地域は、観光資源も多く、ポテンシャルが高いことから、地域の観光の核として、九十九谷の展望を活かした環境整備を行い、交流人口の増加や地域経済の活性化につなげようとするものであり、令和5年度は外部委託により、基本的な方針や整備手法の検討、調査などを行っていききたい。



九十九谷展望公園からの眺望

問 地籍調査事業に関し、これまでの取組の成果及び今後の事業計画について伺う。

答 現在、中富地先の第6工区や下湯江地先の第7工区の調査を進めており、実施にあたっては、土地所有者との現地立会いを

個別に2回行うなど、慎重かつ丁寧に進めることで、これまでの境界同意率は百パーセントとなっている。主な取組の成果として、市道八重原線の整備の際には、用地交渉取得を円滑に進められたことなどが挙げられる。また、本市の取組は成功事例として、県などが実施する研修会などで、紹介されていると聞いており、今後も、総合計画の推進や補助金の獲得などの観点から調査地の選定を行い、計画期間内に調査が完了できるように進めていきたい。

問 君津インターチェンジ周辺土地利用検討事業に関し、今後の事業展開について伺う。

答 当該地域周辺は土地の利用規制など多くの課題があるものの、活用方法等については、庁内プロジェクトチームや、外部有識者を招いた懇話会を設置し、ニーズ調査やコンセプト案を作成するなど、これまでも様々な議論を行ってきたところである。令和5年度は、諸課題の整理を進めるとともに、さらなる企業ニーズの精査を行い、土地利用の検討や構想などを地元の方々の理解が得られるような形でまとめていきたいと考えている。



君津インター周辺

意見 これまでの経過を見ても、当該地域の土地活用は非常に難しいものであると考える。市が大きな目標や目標達成に向けた考えをしっかりと持ち、関係する計画等のハードルをクリアできるように、全力を尽くしていただきたい。

問 非常災害時用備蓄品購入事業に関し、購入予定の備蓄品について伺う。

答 令和5年度は、長期保存のご飯、飲料水、液体ミルク、トイレ用の薬剤、大型扇風機、LED投光器等の購入を予定している。

問 学校再編推進事業に関し、市街地の学区再編の進捗よく状況について伺う。

答 八重原地区の小学校4校については、児童数の推移や通学方法、宅地の開発状況等を考慮し、地域住民との協議を重ね、令和5年度中に学校再編第3次実施プログラムの方向性を示していきたい。

意見 教育委員会や学校関係者、地域住民と十分に話し合い、学校の適正規模の確保、適正配置が市民にとって有益なものとなるよう、着実に取り組まれない。

議案第28号
国民健康保険特別会計予算

問 特定健康診査等事業費に関し、受診勧奨はがきの送付について伺う。

答 特定健診の受診率を向上させ、本市のデータヘルズ計画に掲げる目標を達成す

るため、令和4年度には40歳に到達した対象者にも受診勧奨はがきを送付するなど、取組を強化しており、令和5年度予算においても、令和4年度の約2倍となる1万6千5百通程度発行し、さらなる受診率の向上を目指す。

議案第29号
**農業集落排水事業
特別会計予算**

問 令和4年度に連携協定を結んだ民間企業の活用について伺う。

答 企業が有する高いノウハウを生かし、将来人口や地域の実情に応じた効率的かつ持続可能な下水処理システムの管理・運営手法などの提案を受け、今後の検討に活用していきたい。



賛成

●議案第27号

若者や子育て世代に本市を選んでもらうための子育て支援策や人口減少抑制対策の推進、また、地域経済の活性化や行政サービスの利便性向上を図るためのDXの推進、さらには市政最大の課題のひとつである公共施設の整備等を進めるなど、本市が抱える重点課題に着実に対応していくための予算編成がなされていると理解する。

●議案第28号
小櫃診療所において、利用者数が増加するとともに、地域に根ざした医療体制の充実が図られていることは評価できる。

●議案第30号
小糸・清和地域包括支援センターの開設により、相談・支援体制の充実が図られており、引き続き、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進を望む。

議会基本条例に基づく
議員間討議を実施

委員会審査における各委員の意見等の集約を行うため、議員間討議を実施し、3月24日の本会議の委員長報告では、以下の事項について、委員会全会一致の意見として申し添えを行いました。

内容

- ① 継続して安定した公共サービスを提供していくため、歳入確保・公平性の観点から、公共施設使用料の受益者負担のあり方について早期に検討を行うこと。
- ② 事業の計画策定にあたり外部委託をする場合は、その必要性を十分に検討した上で、業務の内容・量を精査し、適切な委託料となるように努めること。
- ③ 事業執行にあたり、特に市の拠点となる施設の整備等については、積極的に補助金の確保に努めるとともに、市民の期待に応えられるような事業展開を図ること。

教育福祉常任委員会

令和5年
2月2日(木)～3日(金)

視察先

大阪府池田市、滋賀県守山市

不登校対策について(池田市)

■概要…池田市では、不登校解消や空き施設の活用の観点から、平成15年にNPO法人に相談業務を委託し、公設民営のフリースクールが誕生した。平成27年からは高齢化が進むニュータウンにある空き校舎に拠点を移し、地域住民の参加の場ともなっている。

■視察を終えて…フリースクールに通うまでに疲弊した子どもや家族に対し、安全な居場所を提供し、生きる力を育む指導者を確保することが大切であると理解した。君津市においても小中学生の不登校が増加している中、空き施設の利活用と地域活性化の観点から、池田市のような運営を考えると必要であると感じた。



池田市「スマイルファクトリー」

重層的支援体制整備事業について(守山市)

■概要…守山市では、当事業の実施前からある庁内外の連携体制・ネットワークを活かし、包括的な相談支援体制を整備している。また、参加支援事業として社会参加が生まれる場づくりの推進を行っている。

■視察を終えて…当事業で生まれた守山市のカフェでは、地域に雇用が生まれ、引きこもり当事者が既に2名就労しているという。生活に困窮する前に、経済的に自立することが出来る能力を身につけさせること、社会参加により心安らぐ居場所を見つけるとともに、社会貢献を通じた自己肯定感を醸成させることこそ、本来の支援ではないかと感じた。

建設経済常任委員会

令和5年
2月1日(水)～2日(木)

視察先

福井県越前市、石川県加賀市

武生中央公園水泳場再整備事業(Park・PFI)について(越前市)

■概要…武生中央公園水泳場は「Park・PFI」という手法により、民間事業者が主体となっており、スポーツジム、屋内遊戯場、コンテナショップ等が一体となった温水プールの再整備を行い、整備費用の削減や小学校における水泳授業の集約等が図られた。

■視察を終えて…当該施設は民間活力を効果的に活用しており、地域のにぎわいを創出する場所となっていた。本市においても、内みのわ運動公園の再整備の課題があり、越前市のように「Park・PFI」の手法を活用することができると考える。

先端技術の導入による市内産業等の高度化や加賀市イノベーションセンターの取組について(加賀市)

■概要…加賀市では市全体の取組として、AIやIoTなどの先端技術を活用し、様々な地域課題の解決や付加価値の高い産業の創出などを図るスマートシティに関する取組を進めている。また、加賀市イノベーションセンターでは、IoT関連の新規事業の立ち上げや経営安定に向けた支援などを行っている。

■視察を終えて…加賀市では官民一体となり、積極的にスマートシティの推進が図られていた。一部事業では費用対効果などの課題もあったが、今後の事業展開を注視していきたい。

本市も、空き公共施設等を効果的に活用し、スタートアップ企業等への支援ができるのではないかと考える。



加賀市イノベーションセンター「ものづくりルーム」

脱炭素社会調査特別委員会

令和5年
2月6日(月)～8日(水)

視察先

愛媛県内子町(内子バイオマス発電所)、愛媛県新居浜市、高知県梹原町

間伐材等を利用した木質系バイオマス発電所事業(内子バイオマス発電所)

■概要…地元企業を中心として設立した地域密着型の木質バイオマス発電所で、町内で発生する間伐材(ペレット)を燃料として年間約2,500世帯分を発電しており、地産地消エネルギーの促進に寄与している。

■視察を終えて…地域内での持続可能なエネルギーの循環により、森林環境の向上とともに地域経済全体の活性化も期待できる。脱炭素社会の構築には、官民連携による様々な手段を講じていく必要があると感じた。



内子バイオマス発電所

地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定先例地(愛媛県新居浜市)

■概要…平成25年に策定した新居浜市地球温暖化対策地域計画に、気候変動適応策とSDGsの視点を取り入れ、第2期目の計画を策定した。

■視察を終えて…家庭や事業所で行える取組と効果を具体的に分かりやすく提示するなど、情報発信の工夫や、地域協議会を立ち上げて住民参加を促すなどの取組が行われていた。

脱炭素先行地域選定 先例地(高知県梹原町)

■概要…梹原町は、設立予定の地域エネルギー公社を通じてエネルギーマネジメントを行い、木質バイオマスや太陽光、風力、小水力による電力を公共施設などに供給するとともに、農林業の活性化による雇用の創出を図る取組により、環境省による脱炭素先行地域に選定された。

■視察を終えて…森・水・風・光などの自然エネルギーを無駄なく活用し、町内電力の自給率を100%とする高い目標を掲げ、官民一体で様々なプロジェクトに取り組んでいる点が参考になった。

令和5年22歳のつどい

3月11日、君津市民文化ホールにて、新型コロナウイルス感染症の影響により、参集型で実施できなかった令和3年成人を祝う集いの代替企画「令和5年22歳のつどい」が開催され、市議会からは三浦議長ほか関係市議会議員が出席しました。三浦議長は「何事にも果敢に挑戦する勇気と感受性豊かな心を原動力に、輝かしい人生を歩んでいただくことを願います」と市議会を代表して祝辞を述べました。



内箕輪保育園・南子安保育園閉園式

民営化により令和4年度末で閉園となるため、内箕輪保育園は3月18日、南子安保育園は3月23日にそれぞれ閉園式が行われました。市議会からは三浦議長ほか関係市議会議員が出席し、三浦議長は市議会を代表して、園児の皆さんの卒園をお祝いする言葉を贈りました。



廣瀬隆喜選手への 君津市民栄誉賞特別賞表彰式

ブラジルのリオデジャネイロで開催された世界選手権大会「Rio de Janeiro2022 World Boccia Championships」に出場し、個人銀メダル、団体銅メダルを獲得した廣瀬隆喜選手（西尾レントオール）への君津市民栄誉賞特別賞表彰式が3月29日に行われ、市議会からは三浦議長が出席しました。

議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日（土日祝日を除く）に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひご視聴ください。

配信内容 定例会及び臨時会の本会議

注意 速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

アクセス方法 ①君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック

②左側に「本会議ライブ配信」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。

☆スマホ・タブレットからでも
ご視聴いただけます。
通信費は利用者の負担に
なります。



令和5年 第2回定例会 6月2日(金) 開会予定です



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／奈良輪 政五
- 副委員長／高橋 健治
- 委員／佐藤 葉子 石上 壘 小倉 靖幸

- 発行／令和5年5月1日
- 編集／きみつ市議会だより編集委員会
〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局
- TEL 0439-56-1497
- URL <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>

※須永和良副委員長が千葉県議会議員選挙に立候補の届出をし、3月31日付で市議会議員の職は自動失職となったため、高橋健治議員がきみつ市議会だより編集委員及び副委員長に選任されました。